

## 薬学部近畿ブロック支部会、同窓会、なにわ会参加報告

副会長 倉田なおみ

2023年7月29日（土）ガーデンシティクラブ大阪にて、薬学部近畿支部長会、薬学部近畿ブロック同窓会、医歯薬合同懇親会「なにわ会」が以下のように開催され、本部からは倉田が参加させていただきました。

16:30～：薬学部近畿支部長会

17:30～：薬学部近畿ブロック同窓会

18:00～：医歯薬合同懇親会「なにわ会」

薬学部近畿支部会では、大阪地区、兵庫地区、京都地区、滋賀地区、奈良地区（欠席）、和歌山地区の支部長が介し、市丸茂樹代表より6年前の創設時から現在までの経緯説明があり、今後については世代交代を図りたいとの提言がされて各支部長の承認を得ました。

その後の薬学部近畿ブロック同窓会では15名近くの参加者があり、新代表の希望者、推薦者を募った結果、中村亜紀様（18回生、滋賀地区）、大上道代様（18回生・兵庫地区）が選出されました。関西の昭和大学薬学部同窓会「近畿支部会」を1から立ち上げ、医学部主導の「なにわ会」を3学部合同懇親会（幹事は3学部輪番制）にした市丸先生は、支部長からの依頼により相談役として今後もご尽力いただけることになりました。財務に関しては引き続き児玉亮子様（25回生・和歌山地区）が担当することになりました。市丸先生からは、近畿圏の卒業生が少なく同窓生を集めるのも大変であり、同窓会本部の協力を必要としていること、さらには各学部とも関西の入学者が少なくなっており、大学全体として関西地方にも力を注いで欲しいとのコメントがありました。

18:00からの医歯薬近畿ブロック懇親会「なにわ会」では、医学部13名、歯学部14名、薬学部15名が参加し、4年ぶりの懇親会が和やかに開催されました。いつも薬学部の同窓生が一番多く参加するのが特徴的ですが、これも市丸先生のご尽力の賜物であると感じました。一人ひとりの挨拶を聞いても、皆さんが楽しみにして参加されている状況が感じられました。各学部とも何度も参加されている同窓生が多く、学部を越えて和気あいあいと会話も弾んでいました。私自身は大学近隣のスライドを用意していましたが、プロジェクターがなく皆様にお見せすることができませんでした。しかし、近くの先生方とパソコンを見ながら団らんしていたら、帰るべき時間が過ぎてしまいました。購入していた新幹線の切符を変更することができて一安心するもつかの間、大阪一新大阪の電車が事故で遅れていて買いなおした新幹線にも乗れず、さらには最終電車も乗れるかとの状況になりました。日付は変わってしまいましたが何とか家まで帰ることができました。これほどに楽しい団らんでした。